

CX 監視オプション

情シスのミッション『ユーザー満足度の向上』に貢献するために

働く場所の変化や DX 推進など、デジタル化を推奨する「クラウドファースト」への取り組みが進むに伴い、情報システムの運用に関する負担は増大しています。システム障害の原因となりうる箇所が、自社で保有しないインフラやサービスまでに及ぶようになりながら、より早期の検知・切り分け・復旧が求められるためです。

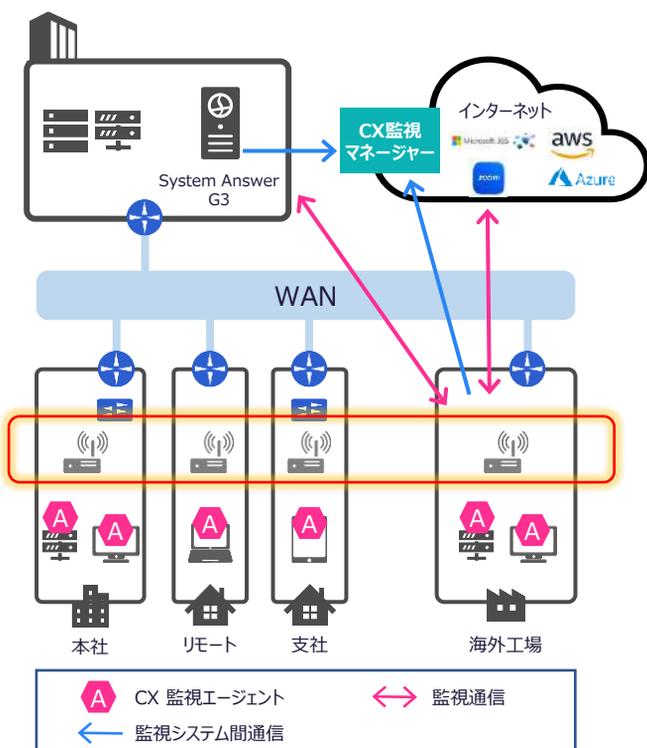
「CX 監視オプション」は、そんな課題を直観的に解決するために生まれたユーザー端末からクラウドサービスまでのユーザーのレスポンス体感を可視化するオプションです。

カスタマーエクスペリエンス（CX）を視覚化する新機能

インターネット全体、拠点間の通信状態、全てのネットワークの監視をおこなう新たな監視体験

- “なんとなく遅い”原因を可視化
- ユーザー視点のサービスレベルを把握し、顧客満足度の向上
- 通信遅延の早期検知、迅速なボトルネック特定を行い、ネットワーク品質の向上
- 問題の切り分けから復旧までの時間を短縮し、TCO 削減

CX 監視オプション導入全体イメージ



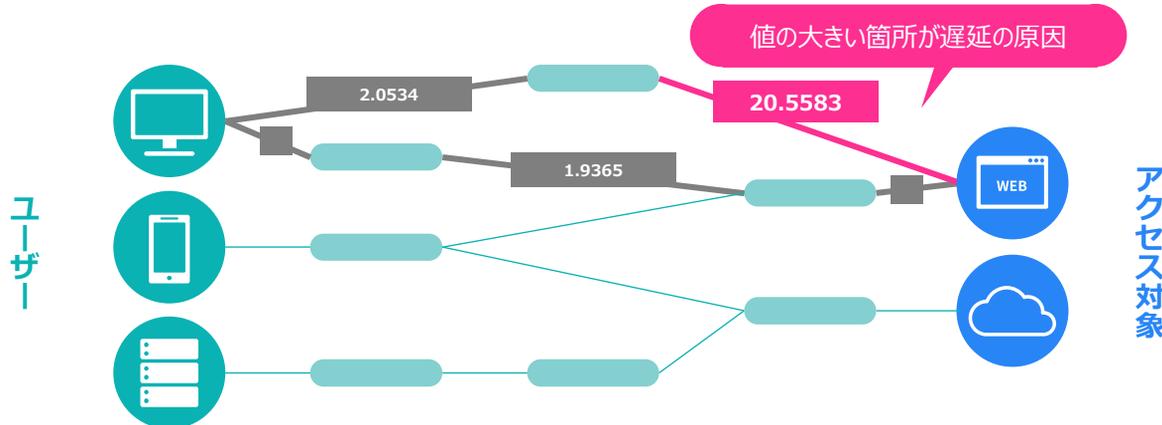
CX 監視オプション導入イメージ



CX 監視オプションの主な機能

ネットワークパス表示機能

ユーザーが通信の異常（繋がらない、遅いなど）を感じた時に、その通信経路のパスと、応答値などの情報を表示します。設定した閾値よりも遅くなっている箇所は、通信経路のラインが赤く表示されます。

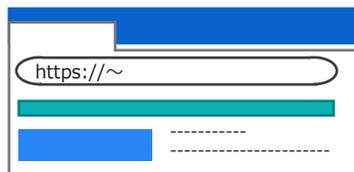


ページロード機能

指定した Web ページのすべてのドキュメントやコンテンツに対してダウンロードを実行し、その速度をチェックします。遅延状況をコンテンツ毎に確認できるため、「特定の画像の容量が大きい」「CDN が特定時間帯で遅い」などの原因の検証・特定が可能となります。また、クライアント環境から実行することでユーザーの体感するレスポンス速度をそのまま数値化可能であるため、早期原因特定、改善、CX 向上につながります。



表示までの
応答速度



Component	Response Time
https://~	~
CSS ファイル	~
JavaScriptファイル	~
外部から引用のデータ	~
画像ファイル	~
動画ファイル	~

読み込みに時間がかかっている

無線通信状況モニタリング機能

※Windows エージェント利用時のみ

Wi-Fi の通信状況（BSS 接続情報や信号強度）を管理できます。PC 端末を利用しているユーザーが接続している SSID の電波強度や、野良 SSID の影響度などを調査できます。

※ クライアント自身がクラウドへ情報を送るため、CX 監視エージェント（関連して NMAP、Chrome）のインストールが必要となります。

Agent Name	BSSID	SSID	Type	Band	Channel	Signal	Quality	Last Modified
CXAgent01	[Redacted]	[Redacted]	Vht 802.11ac	5 GHz	44	-82	25	2024/01/15 15:28:59
CXAgent01	A4:BB:CC:DD:EE:FF	IBCGuestWiFi	He 802.11ax	5 GHz	36	-40	100	2024/01/15 15:28:59
CXAgent01	[Redacted]	[Redacted]	Vht 802.11ac	5 GHz	36	-86	19	2024/01/15 15:28:59
CXAgent01	AA:BB:CC:DD:EE:FF	IBCGuestWiFi	He 802.11ax	2.4 GHz	6	-52	100	2024/01/15 15:28:59
CXAgent01	[Redacted]	[Redacted]	Vht 802.11ac	5 GHz	140	-89	15	2024/01/15 15:28:59

提供形態：System Answer G3 v03.28-00 より利用可能

提供価格：当社営業またはホームページの問い合わせ先までお問い合わせください